

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21800	環境政策推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市環境基本計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境保全に取り組みます。 ◎市民生活の中に自然環境を活かした街づくりを進めます。 ◎環境教育を推進します。
	課			2	総務費	分野		6	環境・衛生	実施計画事業					
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費	H26実施計画額	基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	2,000 千円				
	2282			目	18	環境政策費		施策	2	地球環境への負荷の低減					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	地球環境の保護と市民の環境意識の向上及び具体的な行動、参画を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 高山市環境審議会の運営を行う。 高山市快適環境づくり市民会議の運営を行う。 高山市環境基本計画等を策定する。 ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発を行う。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> 高山市環境審議会の開催(審議会2回、意見交換会3回) 太陽光発電システム設置に対する助成制度の実施 エネルギー賦存量調査の実施 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	グリーンマーケット及びクリーン作戦等の開催	回	目標値	4	5	5	5
				実績(見込)	4	4	4	
	算出根拠等			達成率(%)	100	80	80	
	活動指標	ポイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発パトロールの実施	回	目標値	135	198	70	70
				実績(見込)	135	197	70	
	算出根拠等			達成率(%)	100	99	100	
	活動指標	環境審議会(意見交換会含む)開催回数	回	目標値	8	10	10	6
				実績(見込)	8	5	5	
	算出根拠等			達成率(%)	100	50	50	
	成果指標	グリーンマーケット参加者	人	目標値	2,000	2,000	2,200	2,200
				実績(見込)	2,000	2,000	2,000	
算出根拠等			達成率(%)	100	100	91		
成果指標	クリーン作戦参加者	人	目標値	200	220	220	220	
			実績(見込)	220	120	150		
算出根拠等			達成率(%)	110	55	68		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して省資源や環境保護などの環境活動に取り組む必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 高山市環境審議会、意見交換会を開催する。 高山市新エネルギービジョン(仮称)を策定し、新エネルギー導入の方向性を示す。 快適環境づくり市民会議によるグリーンマーケット、クリーン作戦を実施する。 観光客等へポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の周知啓発に努める。 市民との協働により環境に関する取り組みが進むよう、市民活動団体等との連携や市民参加による事業推進に取り組む。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境の保護と市民の環境意識の向上を継続的に図る。 自然エネルギー利用日本一の環境都市に向け、新エネルギーの導入と省エネルギーの推進を図る。 市民との協働により環境に関する取り組みが進むよう、市民活動団体等との連携や市民参加による事業推進に取り組む。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	15,514	3,666	21,573	11,806
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	166	39	234	128
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 環境審議会の開催 高山市地球温暖化対策地域推進計画の推進 高山市快適環境づくり市民会議の事務局運営 ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 環境基本計画等策定に関する環境審議会の開催回数の増 高山市快適環境づくり市民会議による環境関連イベントの実施 再生可能エネルギー事業化に向けた検討 自然エネルギー利用の普及啓発 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 行政だけでなく、市民、事業者が連携し、協働して環境活動に取り組む必要がある。 環境負荷の少ない再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの自給自足を目指す必要がある。
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		21,573	11,806	△ 9,767	9,210	9,210	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 自然エネルギー普及啓発に必要な経費を計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	10,000		△ 10,000				
	一般財源	20,573	11,806	△ 8,767	9,210	9,210		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21805	森林づくり交流推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	視覚計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・森林等の自然環境を資源として守り活用するため、自治体・企業間交流等、都市部との連携等を実施します。
	課			2	総務費	分野		3	林業	実施計画事業					
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線 2282	項	1	総務管理費	H26実施計画額	基本施策	1	林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	6,500 千円				
				目	18	環境政策費		施策	4	森林の保全					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	事業の実施手法(手段)	・都市部の自治体、企業等とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、エコツアーなどを実施し、交流・連携を図る。 ・間伐材を始めとした地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部の自治体、企業等へのPRなどを推進する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・千代田区との森林保全整備工事 10ha、アキバグリーンフェスティバルへの出展 ・「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」のホームページ開設、みなと森と水サミット2013に参加						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		都市部の自治体・企業等との連携交流イベント実施回数	回	目標値	1	2	3	3
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)	1	2	3	
		達成率(%)		100	100	100		
	成果指標	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録事業者件数	件	目標値	10	15	20	10
		算出根拠等		実績(見込)	10	11	9	
	成果指標	達成率(%)		100	73	45		
		都市部とのカーボンオフセット事業による二酸化炭素吸収量	t-CO2	目標値	-	78	78	78
	成果指標	算出根拠等		実績(見込)	-	90	128	
		達成率(%)		100	115	164		
	補足	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度による港区内建築物への木材供給事業者数	件	目標値	1	1	2	2
		算出根拠等		実績(見込)	0	0	1	
			達成率(%)	0	0	50		
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・CO2削減に向けた都市部の自治体・企業等との継続的な取組みの仕組みづくりの検討が必要である。 ・都市部と地元の住民や事業所同士が自主的に連携活動ができる体制づくりが必要である。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・カーボンオフセット事業による地球温暖化対策を推進するとともに、都市部の自治体、企業等の各種イベント・行事に参加し、連携・交流のきっかけづくりを行う。 ・高山産の木材流通の促進が図られるように積極的なPRや関係機関への働きかけを行う。	
次年度の実施方針	維持・改善	・高山市の森林づくり等による都市部との地域間交流を、今後は環境面だけでなく観光や地域活性化にもつながるよう、庁内の連携を図る。 ・森林のCO2吸収量の拡大を図るため、千代田区との連携強化とみなとモデルの推進を図るとともに、新たな自治体・企業との連携をすすめる。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	維持・改善	・引き続きCO2排出量取引などの財源確保に繋がるような取り組みを行う必要がある。 ・「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」については港区内建築物への木材供給の実績を上げられるよう取り組む必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	526	5,605	6,100	4,905
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6	60	66	53
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	・東京都千代田区との連携、交流 ・東京都港区との連携、交流 ・都市部との新たな連携、交流の検討	要求のポイント	・東京都千代田区との森林整備(カーボンオフセット)事業の実施 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	事業実施の課題	・CO2削減に向けた都市部の自治体、企業等との継続的な取組みの仕組みづくりの検討が必要である。 ・地域材の木材流通の促進を図るPR方法を検討する必要がある。
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	6,100	4,905	△ 1,195	4,600	4,600	・積算内容を精査	・財務部査定のとおりに
	国庫支出金			0				
	県支出金	3,300	2,117	△ 1,183	2,400	2,400		
	その他	1,100	1,100	0	800	800		
	一般財源	1,700	1,688	△ 12	1,400	1,400		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21810	木質バイオマス活用促進事業費	予 算	会計 1 一般会計	総 計 画	政策 3 「すみよさ」のあるまちをめざして	概 観 計 画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市 長 公 約
	課 目			款 2 総務費		分野 6 環境・衛生			
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内 線 2283	項 1 総務管理費	基本 施 策	1 快適に暮らせる環境を整備する	実 施 計 画 事 業	木質バイオマス活用促進事業	8
				目 18 環境政策費		2 地球環境への負荷の低減			

豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります
 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全は今を生きる全ての人々を取り組まなければならない重要な課題であるため、バイオマスの活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します
 ・温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・木質バイオマス普及のため、市民の環境意識の高揚を図るとともに、ペレットストーブ等の導入について積極的に支援することによって、日本一の森林都市・飛騨高山に相応しい低炭素型社会を構築する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・ペレットストーブ、薪ストーブ、ペレットボイラー、ペレット燃料等の購入経費に対して補助する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		ペレットストーブ等の設置に対する補助、ペレット燃料等の購入に対する補助の実施						
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指 標	ペレットストーブ等導入台数	台	目標値	165	105	105	250
				実績(見込)	98	82	105	
	算出根拠等			達成率(%)	59	78	100	
	活動 指 標	ペレットボイラー導入台数	台	目標値	1	1	2	2
				実績(見込)	0	0	2	
	算出根拠等			達成率(%)	0	0	100	
	成果 指 標	ペレット燃料購入助成件数	件	目標値	160	160	160	170
				実績(見込)	130	73	96	
	算出根拠等			達成率(%)	81	46	60	
	成果 指 標	CO2削減量	t	目標値	205	130	131	310
				実績(見込)	122	102	131	
算出根拠等		1.24t/台	達成率(%)	59	78	100		
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補 足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ等の設置に対する補助件数は、ほぼ横ばいであり、当初の見込みに対して十分な実績があがっていない。 ・市民への周知を効果的にを行い、本事業の活用促進を図る必要がある。
----------------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・制度利用者アンケートを実施し、事業の検証を行うとともに利用者の意見を制度活用の推進につなげる。 ・市民への周知を図り、本補助制度の活用促進を行う。 ・大型ペレットボイラーに対する補助を新設 ・他の政策とあわせ高山市地球温暖化対策地域推進計画に定める温室効果ガス排出量の削減目標を達成するための活動指標を設定するよう検討する。 		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数はほぼ横ばいであるが、CO2排出量の削減、木質バイオマスの活用による循環型社会の構築に大きな効果が期待できるため、引き続き実施する。 ・ペレット燃料の価格は、化石燃料との価格差が小さくなっているため、来年度までの実施で廃止を検討するとともに、需給システムの確立を検討する。 ・他の政策とあわせ高山市地球温暖化対策地域推進計画に定める温室効果ガス排出量の削減目標を達成するための活動指標を設定するよう検討する。
	二 次 評 価	拡大	
		縮小	
		廃止検討	
維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策における木質バイオマスの有効性について、市民の理解を深める取り組みを行う必要がある。 		

コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	9,763	8,176	18,000	38,100
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	42,820	52,748	88,670	67,553
	受益者	助成制度利用者	(B)	228	155	203	564

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ペレットストーブ、薪ストーブの購入に対する助成 ・ペレットボイラー、大型ペレットボイラーの購入に対する助成 ・ペレット燃料の購入に対する助成 	要 求 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー普及啓発の強化に伴う目標件数の設定、目標達成に向けた取り組みの実施 	事 業 実 施 の 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料の代替エネルギーとしての木質バイオマス利用をさらに促進するため、市民への補助制度周知とともに木質バイオマスに関するPRを検討 ・制度開始から5年をむかえるため、当補助事業の効果を測るとともに、今後の方針について検討の必要がある。
------	---	---------------------------------	--	---------------------------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		18,000	38,100	20,100	32,000	32,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	18,000	38,100	20,100	32,000	32,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21821	住宅エコ推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活動など、環境保全是今を生きる全ての人々が取り組まなければならない重要な課題であるため、バイオマスの活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します ・温室効果ガス排出量を2020年までに25%削減(1990年対比)します
課	環境政策部			環境政策推進課	内線	2283		款	2	総務費					
担当課	環境政策部 環境政策推進課			項	1	総務管理費	基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	H26実施計画額	50,000 千円				
				目	18	環境政策費	施策	2	地球環境への負荷の低減						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・高山市におけるエコ住宅の新築工事及びエコリフォーム工事を促進し、住宅性能を維持・向上させ家庭部門におけるCO2の排出削減を促進し、地球温暖化対策の推進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・国が実施していた住宅エコポイント制度により付与されたポイント数の1.5倍の金額を補助する。(限度額48万円) ・補助対象となるエコ住宅の新築、エコリフォーム工事、屋根遮熱塗装等工事に対して、要した費用の1/3を補助する。(限度額45万円)
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・エコ住宅の新築、エコリフォームに対する補助の実施						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	住宅エコ助成件数	件	目標値	2,666	2,100	1,320	500
		実績(見込)	1,810	1,559	1,320			
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	68	74	100	
		CO2削減量	t	目標値	373	294	185	70
	成果指標	算出根拠等	1件あたり0.14t	実績(見込)	253	218	185	
		補助対象となった工事の総工事費	億円	達成率(%)	68	74	100	
	補足	算出根拠等		目標値	45	34	21	8
				実績(見込)	41	38	21	
	補足	算出根拠等		達成率(%)	91	112	100	
			目標値					
補足	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・平成24年10月より開始した高山市独自の補助制度により、国のエコポイント制度実施時と同等の着工件数が維持できている。 ・CO2削減量が減少しているにもかかわらず、受益者1件あたりのコストが増加しているため、最小限のコストでCO2排出削減に効果の期待できる新たな制度を引き続き検討する必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・国の新たな補助制度等の動向も見極め、さらにCO2削減量の増加が見込まれる新たな制度の検討を行う。										
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">・今後さらに効果が期待できる手法を検討するとともにエコ住宅に対する意識啓発をすすめる。</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>○維持・改善</td> <td rowspan="3">(担当課評価に同じ)</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	○維持・改善	・今後さらに効果が期待できる手法を検討するとともにエコ住宅に対する意識啓発をすすめる。	拡大	縮小	○維持・改善	(担当課評価に同じ)	拡大	縮小	廃止検討	
○維持・改善	・今後さらに効果が期待できる手法を検討するとともにエコ住宅に対する意識啓発をすすめる。										
拡大											
縮小											
○維持・改善	(担当課評価に同じ)										
拡大											
縮小											
廃止検討											

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	297,414	294,268	250,000	301,361
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	164,317	188,754	130,208	218,378
	受益者 助成制度利用者	(B)	1,810	1,559	1,320	1,380

5 予算編成(Action2)

事業内容	・エコ住宅の新築、エコリフォームに対する助成 ・屋根遮熱塗装等に対する助成	要求のポイント	・CO2の排出削減による地球温暖化対策を推進するため、エコ住宅の新築及びエコリフォームに対する助成を1年延長	事業実施の課題	・国・県等による施策の動向を踏まえながら、今後の事業実施について検討する必要がある。
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	250,000	301,361	51,361	120,000	120,000	・平成26年3月31日着工までの経過措置分を予算計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	250,000	301,361	51,361	120,000	120,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21825	地球温暖化対策事業費	予 算	会計	1	一般会計	総 計 画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	概 観 計 画	高山市地球温暖化対策地域推進計画	市 長 公 約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境保全に取り組みます。 ◎市民生活の中に自然環境を活かした街づくりを進めます。 ◎環境教育を推進します。
	課 目			2	総務費	分野		6	環境・衛生	実施計画事業					
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内 線 2282	項	1	総務管理費	基本施策	1	快適に暮らせる環境を整備する	H26実施計画額	15,000 千円				
	目	18		環境政策費	施策	2		地球環境への負荷の低減							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・温室効果ガス排出量を削減する手段や仕組みを導入し、低炭素社会を構築する。 (※1990年度比で2020年度までに温室効果ガス排出量25%削減を目指す。)	概要	事業の実施手法(手段)	・太陽光発電システム設置に対する助成制度により普及促進を図る。 ・市が管理する公共施設の白熱電球をLED電球に切替える。 ・施設緑化用樹木を購入し、公共施設の緑化を図る。 ・防災拠点施設(指定避難所)に太陽光発電システムと蓄電池を整備し、新エネルギーの導入と防災力の強化を図る。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム設置に対する助成制度の実施 ・施設緑化用樹木の購入 40施設 2,495本、公共施設のLED照明化 120施設 3,320個 ・エコワットやCO2カルクを使用した夏休みや冬休みの環境学習を実施 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	施設緑化用樹木配付本数	本	目標値	4,000	2,500	3,000	3,000
				実績(見込)	2,095	2,495	2,495	
	算出根拠等			達成率(%)	52	100	83	
	成果指標	住宅用太陽光発電システムの市内導入世帯数	世帯	目標値	400	550	670	870
				実績(見込)	461	581	670	
	算出根拠等			達成率(%)	115	106	100	
	成果指標	温室効果ガス排出量の削減率	%	目標値	25	25	25	25
				実績(見込)	9	未公表	未公表	
	算出根拠等			達成率(%)	36			
	成果指標	小中学校等環境学習参加者数	人	目標値	150	50	50	50
				実績(見込)	12	21	14	
算出根拠等			達成率(%)	8	42	28		
成果指標	電気自動車用急速充電器利用台数	台	目標値	-	365	730	1,460	
			実績(見込)	-	329	776		
算出根拠等			達成率(%)		90	106		
			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量削減のために、地域特性に合った新エネルギーの導入について検討する必要がある。 ・市民、事業者の新エネ、省エネに対する意識喚起と導入に向けた機運を高める必要がある。
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車急速充電器の新設や電気自動車を活用した観光モデル実証実験を通し、利用傾向と今後の方向を見定める。 ・市域の新エネルギーの賦存量調査を実施し、高山市新エネルギービジョン(仮称)を策定中 ・防災拠点施設(指定避難所)に再生可能エネルギー等を導入し、防災力の強化と環境負荷の小さい低炭素型の地域づくりを推進する。 ・公共施設へのLED電球の導入を実施 	
次年度の 実施方針	担当課	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの積極的な導入を図る。 ・防災拠点施設(指定避難所)への新エネルギーの導入と防災力の強化を図る。 ・充電インフラ設備の充実を図るとともに、電気自動車等の普及促進を図る。 ・更なる温室効果ガス排出量削減へ向けた地球温暖化対策の充実を図る。 ・小中学生等への環境学習を充実するなど、地球温暖化対策の身近な取り組みの普及啓発を図る。
	○	拡大	
	○	縮小	
	○	廃止検討	
二次評価	維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの導入にあたっては、地域活性化や新産業創出の視点を組み入れるとともに、国のエネルギー政策の見直しの動向に留意する必要がある。 ・CO2排出量がどの程度削減されたのか、事業の効果検証を行う必要がある。 	
○	拡大		
○	縮小		
	○	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	1,899	24,095	216,600	313,279
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	20	259	2,352	3,402
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	温室効果ガス排出量削減に向けた地球温暖化対策の推進 ・防災拠点施設への新エネルギー設備の導入 ・電気自動車用急速充電器の設置 ・太陽光発電システムの設置に対する助成 ・施設緑化用樹木購入	要求のポイント	・防災拠点施設への新エネルギー設備の導入 ・電気自動車用急速充電器の設置	事業実施の課題	・高山市新エネルギービジョン(仮称)に基づいて、新エネルギーの積極的な導入を推進する必要がある。
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		216,600	313,279	96,679	212,000	212,000	・積算内容を精査 ・防災拠点施設への新エネルギー設備の導入、電気自動車急速充電器の設置に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	8,000	9,300	1,300	8,000	8,000		
	一般財源	208,600	303,979	95,379	204,000	204,000		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	21850	生物多様性保全推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	概観計画	生物多様性ひだかやま戦略	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境教育を推進します
	課			2	総務費	分野		1	自然	実施計画事業					
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	1	総務管理費		基本施策	1	恵まれた自然を守り活かす	H26実施計画額	19,500 千円			
			2282	目	18	環境政策費		施策	1	自然環境の保全					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	市民が生物多様性への関心と理解を深めることで、自然環境の保全につなげる。	概要	事業の実施手法(手段)	その土地本来の木による本物の森をつくることを通してのちのちの豊さを学ぶ「いのちの森づくり」を実施する。 ・学校による授業の一環として専門のインストラクターの説明を受けながら、五色ヶ原の森をはじめとする自然公園等に入り、自然を体感する「自然環境学習」を実施する。 ・里山をフィールドとして、草木や野鳥、昆虫等と触れ親しむ「山の自然学校」を開催する。 ・外来植物駆除の啓発並びに駆除方法の講習会を開催する。
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> いのちの森づくりの開催(「第一章「森を知る」8会場、第二章「森から苗とり」1回開催。第三章「森を育む」1,000本植樹) 自然環境学習の開催(19小中学校・てあい塾 参加児童数 1,297人) 山の自然学校を開催(4講座、107名参加) 外来生物駆除講習会の実施(市内10箇所 参加者 320人) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	いのちの森づくり開催数(第一章～第三章)	回	目標値	5	15	15	15
				実績(見込)	5	11	5	
	算出根拠等			達成率(%)	100	73	33	
	活動指標	山の自然学校の開催数	講座	目標値	6	6	6	6
				実績(見込)	4	4	6	
	算出根拠等			達成率(%)	67	67	100	
	成果指標	いのちの森づくり開催数(第一章～第三章)への参加数	人	目標値	130	310	310	310
				実績(見込)	131	800	310	
	算出根拠等			達成率(%)	101	258	100	
	成果指標	自然環境学習への参加校数	校	目標値	32	32	32	32
				実績(見込)	12	20	14	
算出根拠等			達成率(%)	38	63	44		
成果指標	自然環境学習への参加児童数	人	目標値	1,500	1,800	1,800	1,800	
			実績(見込)	805	1,297	1,146		
算出根拠等			達成率(%)	54	72	64		
成果指標	山の自然学校への参加者数	人	目標値	180	180	180	180	
			実績(見込)	55	107	150		
算出根拠等			達成率(%)	31	59	83		
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 受益者負担を設けない事業であるため、国等の補助金の活用や民間団体等との連携を検討し、市の負担を軽減することが必要 民間団体等の類似する自然環境学習活動と連携した取り組みが必要 より多くの学校が参加できるような教育委員会との調整が必要
--------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 広く市民を対象とした自然環境教育については、山の自然学校の内容を見直し、民間で実施している活動と連携する等、効率的な環境教育の実施を図っている。 小中学生の自然環境学習については、市内全小中学校が同じ取り組みとして進めていけるよう、教育委員会と調整する。 外来生物の効果的な除去の手法について講習会を実施した他、奨励金制度の活用により実績が拡大するよう、制度の周知に努めている。 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 次年度以降も教育委員会及び民間団体等との連携を密にこり、積極的に環境教育活動を進めていく。 国、県等の補助金の活用や民間団体等との連携を推進し、市の財政的・労力的負担を軽減していく。 外来生物駆除への更なる啓発活動と駆除講習会の開催などによる市民の参画を働きかけていく。 奨励金制度について市民の意見を聞きながら制度の検証を行う。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
○拡大		
○縮小		
○廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	7,941	4,025	6,845	16,538
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	85	43	74	180
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	生物多様性への関心と理解を深め、自然環境保全への意識を高めるための各種事業 ・いきもの調査の実施 ・いのちの森づくり ・山の自然学校 ・自然環境学習 ・特定外来植物の駆除 など	要求のポイント	・地元町内会や民間団体、地域在住の講師などと連携した環境保全への取り組みや環境学習の実施 ・子供たちに地域の素晴らしい自然を体感し、自然保護の大切さを学ぶ機会の提供	事業実施の課題	・より多くの市民や学校が参加可能となるような仕組みづくりが必要
------	---	---------	---	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,845	16,538	9,693	9,135	9,135	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	1,000	3,500	2,500	3,000	3,000		
	その他	100		△ 100				
	一般財源	5,745	13,038	7,293	6,135	6,135		

平成26年度 事業別予算概要

事業名	62410	自然公園等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして	概観計画	高山市環境基本計画	市長公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ◎環境保全に取り組みます。
	課			6	商工費	分野		1	自然						
担当課	環境政策部 環境政策推進課		内線	項	2	観光費	基本施策	1	恵まれた自然を守り活かす		実施計画事業	登山道整備事業		H26実施計画額	5,800 千円
	2282			目	3	自然公園費		3	自然を活かしたまちづくり						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・適正な自然公園の管理を推進し、市民や観光客等が自然公園へ安全安心に訪れられる環境を整えることで、公園利用の促進と自然環境保護への意識の高揚を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・指定管理者による乗鞍山麓五色ヶ原の森の適正な管理運営を推進 ・乗鞍自動車利用適正化協議会による乗鞍スカイラインの適正活用の推進
	対象者数	92,097 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森市民ツアーの実施 乗鞍山麓五色ヶ原の森への入山に、環境休養日を設けて環境に配慮した管理運営を推進(入山者数 5,481人) 乗鞍スカイラインの適正管理と乗鞍フォーラム開催による乗鞍岳の環境保全啓発の推進(入込者数 164,946人、乗鞍フォーラムの開催 参加者250人) 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	乗鞍山麓五色ヶ原の森市民ツアー開催回数	回	目標値	5	10	10	10
				実績(見込)	5	10	8	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	80	
		成果指標	乗鞍山麓五色ヶ原の森の入込者数	人	目標値	7,500	7,500	7,500
	実績(見込)				7,424	5,481	4,953	
	算出根拠等			達成率(%)	99	73	66	
		成果指標	乗鞍山麓五色ヶ原の森市民ツアー参加者数	人	目標値	250	500	500
	実績(見込)				234	500	354	
	算出根拠等			達成率(%)	94	100	71	
		成果指標	乗鞍スカイラインの入込者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000
	実績(見込)				181,932	164,946	166,774	
算出根拠等			達成率(%)	91	82	83		
	成果指標	乗鞍フォーラムの参加者数	人	目標値	500	500	500	500
実績(見込)				310	250	200		
算出根拠等			達成率(%)	62	50	40		
			目標値					
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 乗鞍については、国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携強化を推進し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。
--------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		<ul style="list-style-type: none"> 乗鞍山麓五色ヶ原の森については、環境休養日を設ける取組みを継続するとともに、案内人のスキルアップを図るため研修内容等も充実させる。 乗鞍については、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき、事業展開するとともに、課題解決に向けて適正収容力を調査し、目標入込者数設定に向けて検討を進める。
次年度の実施方針	担当課評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	二次評価	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	(担当課評価に同じ)	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	48,805	46,039	51,088	60,512
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	523	496	555	657
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,312	92,861	92,097	92,097

5 予算編成(Action2)

事業内容	乗鞍山麓五色ヶ原の森や乗鞍スカイライン、その他自然公園などの適正管理 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森の指定管理、維持修繕 ・乗鞍スカイラインの適正利用 ・中部北陸自然歩道などの適正管理など	要求のポイント	利用開始以来10年を経過した乗鞍山麓五色ヶ原の森の安全対策の実施	事業実施の課題	自然環境保全と地域振興のバランス及び利用者の安全面を考慮した事業の展開
------	---	---------	----------------------------------	---------	-------------------------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		51,088	60,512	9,424	52,978	52,978	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 ジオパーク、エコパーク推進に要する経費を計上 	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	11,890	12,034	144	11,970	11,970		
	その他			0	200	200		
	一般財源	39,198	48,478	9,280	40,808	40,808		